



林崎小だより

R5年度 No.5

令和5年9月25日

学校スローガン「自分も人も大切にし、ともに伸びる林崎っ子」

9月も下旬となりましたが、まだまだ暑い日が続いています。この猛暑を踏まえ、子どもたちの安全のため、今年度、9月16日(土)に予定していた運動会を10月28日(土)に延期することになりました。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

4年生人権学習 久保修さんをお招きして

今年度も8月29日(火)、あいぽーと徳島より人権啓発推進員の久保修さんをお招きし、4年生に出前授業をしていただきました。

久保さんは、出生直後に脳性まひとなり、両手と言葉に障がいがあります。ご自身のつらかった経験をもとに、いじめのない社会の実現や、命の大切さを熱く話してくれました。



熱く話してくださる久保さん

心に残った久保さんの言葉を紹介します。

- かわいそうか、かわいそうでないかは本人が決めること。
私はかわいそうと思われたくない。
- 自分から見たら学校の友達がたくさんいるあなたたちがうらやましい。周りの友達を大切に仲良く生活してほしい。
- 子どもの時から障がい者とふれ合うことで偏見がなくなる。
だから、自分をさらけ出して体当たりでお話している。
- 障がい者に会ったら声をかけてほしい。「こんにちは。だいじょうぶですか。お手伝いしましょうか。」声かけはボランティアの第一歩です。
- ちがうところはいっぱいあっても、きれいなものをきれいだと感じる心は同じ。同じ人間だから。

そして、最後に3つのメッセージを伝えてくれました。

- 自分と周りの人のよいところを見つけてください。
- 自分と周りの人を大切にしてください。
- 親からもらった一つしかない命を大切にしてください。



お得意の一発ギャグも交えて「ウルトラマン！」



休憩時には子どもたちと談笑

この3つのメッセージとともにさだまさしさんの「道化師のソネット」を歌っていただきました。心に響く素晴らしい時間となりました。

※裏面につづく

人権地域学習（４年生・５年生）

林崎小学校では、立岩集会所の先生方の協力のもと、学年に応じた人権地域学習に取り組んでいます。昨年度まではコロナ禍で通常が取組ができませんでしたが、今年度は途切れた期間の学びを取り戻すべく、学習を進めていきます。まず、４年生と５年生から学習をスタートしました。

【４年生】

４年生は、９月１３日（水）に立岩集会所にて、お話を聞かせてもらいました。そこに住んでいるだけ、そこに生まれてだけで差別される部落差別の存在を知りました。また、昔はその地域の方たちが、お池の水を管理し、米作り農家を支えていたことも教えてもらいました。



お池を見学



集会所の板東先生のお話

【５年生】



板東先生が熱く話してくださいました。



メモをとりながらしっかり聞きました。



教室での振り返り

５年生は９月１９日（火）に立岩集会所を訪れました。４年生の学習内容に加えて、部落差別によって学校に通えなかった方たちが奪われた文字を取り戻す「識字学級」のことも学びました。

教室でもしっかりと振り返る中で、差別の不合理さに気づき、自分にできることを考える姿が見られました。

ご家庭でも、子どもたちの学びをもとに、人権について話し合う機会としていただけたらと存じます。

CS（コミュニティースクール）だより



茶道教室の活動ががんばっています。茶道を通して礼儀作法や根気強さが身につく、子どもたちの心が整っていくことを感じます。とても素晴らしい活動です。

講師の曾川裕子先生と平島律子先生には熱心にご指導いただき、本当にありがとうございます。



朝や業間の読み聞かせでたいへんお世話になっている「めろんぱん」の皆様です。

低学年から高学年まで、子どもたちは読み聞かせをとても楽しみにしています。

わくわくドキドキするような、そして心がほっとするような時間をありがとうございます。

※ 学校ホームページにカラー版の林崎小だよりを掲載しています。